

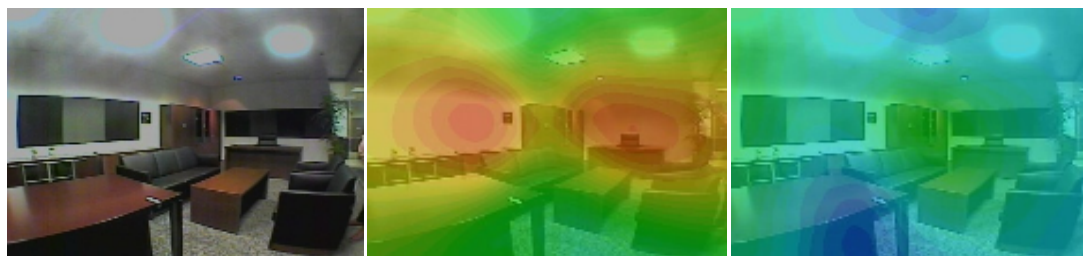
音環境を構築するには、「A.B.C(Absorb:吸音, Block:遮音, Cover:マスキング)」の3つの要素を組み合わせた総合的な環境を構築しないと効果が出ません。

われわれはABCの3つ目のアイテムの

『サウンドアブソーション』を開発しました。

「何となく居心地が悪い」、「テレビ会議で耳障りな音がする」なども、このサウンドアブソーションを組合わせた対策を施すことで総合的なバランスの取れた音環境を構築することができます。

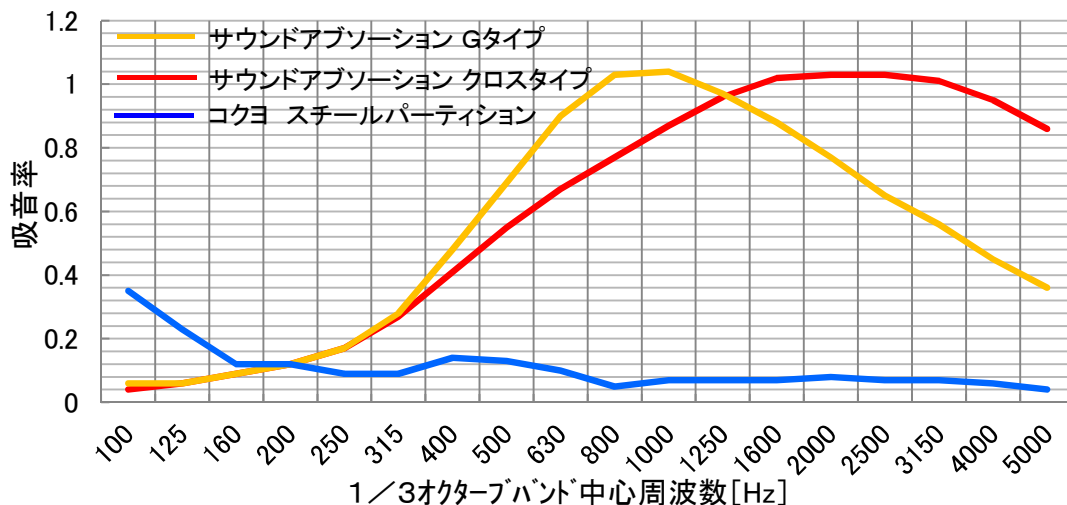
(例)吸音効果の実験:日東紡音響エンジニアリング(株)社 ノイズビジョンにて測定



撮影アングル

吸音パネルなし

吸音パネルあり
(サウンドアブソーション)

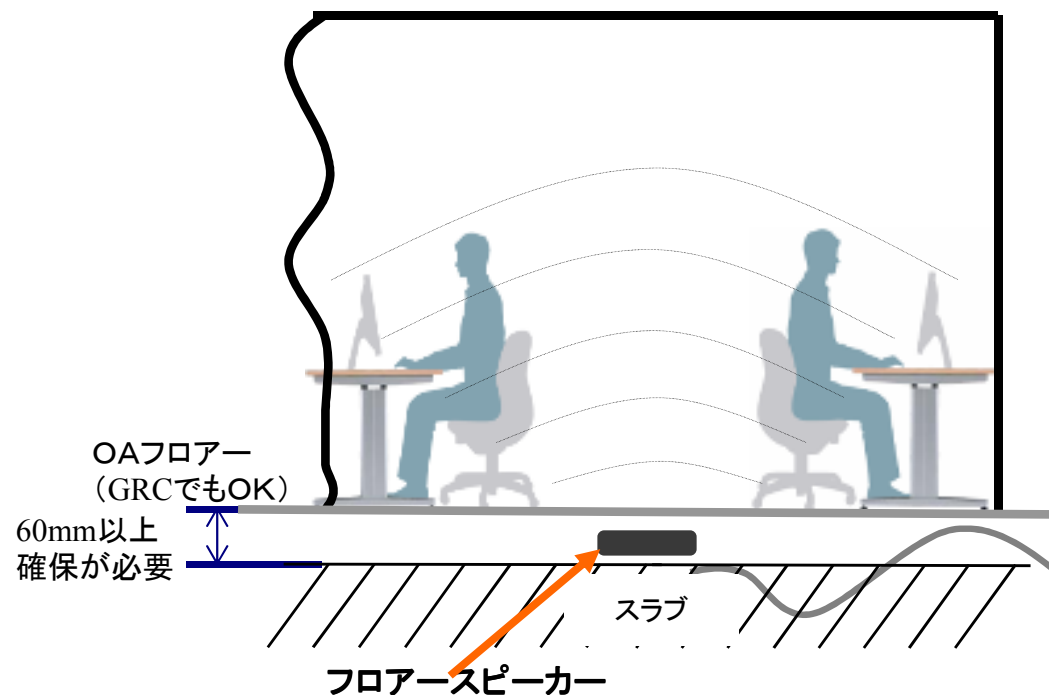


サウンドアブソーションの特長

- マグネット式で簡単設置
 - 建築工事が不要で、取り外し、増設が容易です。
 - 落ち着いた色などの標準色の他、受注色もございます。
- お部屋のデザインを活かすため、2種類のシートをご用意
 - 1) 落ち着いた木目調など揃えた Gタイプ
 - 2) 軽快なイメージを演出する クロスタ입上記の2種類を混合する事で、今までの吸音材では難しかった機能性 や デザイン性を実現致しました。

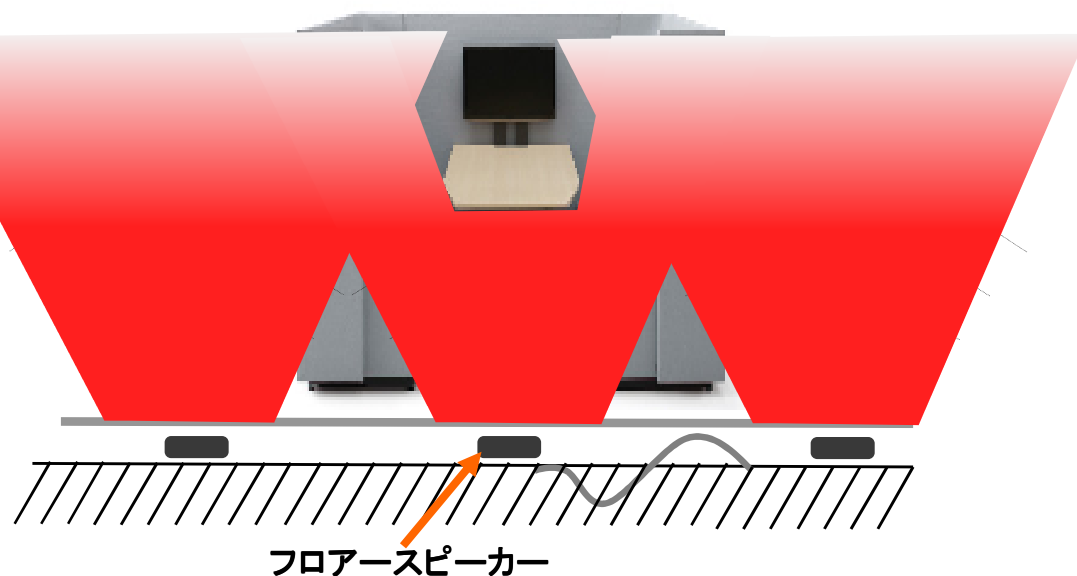
オフィス環境において、サウンドマスキングを天井へ導入する際最近増えてきましたグリット天井であれば、簡単に導入出来るのですが、在来天井やシステム(ライン)天井などでは、点検口を増設する必要がありました。また、TV会議やTEL会議に対して、サウンドマスキングの音量を大きくすると、会議先の相手側にサウンドマスキングの音を転送してしまうことがあります。そのような時は、Gマスキング や デスク・サウンドマスキングをご使用いただいております。

今回、サウンドマスキングの3つ目のアイテムとして、『サウンドマスキング フロアー』を開発しました。サウンドマスキングフロアーは、OAフロアーの下に設置することで、サウンドマスキングを自然に天井タイプと同様にかけることが出来、総合的にバランスの取れた音環境を構築することが出来ます。



サウンドマスキング フロアーの特長

- 高所作業が無く、設置が簡単
 - 高所作業が不要で配線の引き回しも容易です。
- 点検口の増設が不要になります。
 - 在来天井 やシステム(ライン)天井でも、点検口の増設が不要になります。
- 効果は従来同様のマスキング性能を確保
 - 効果は、従来同様の性能をチューニング技術で確保しています。



サウンドマスキング コントローラー Poket

KOKUYO

2014年 12月 3日 11:30 プレスリリース

サウンドマスキングを家具内蔵の際には、
コントローラーの置き場で 配線トレーを占有したり または、
配線トレーに入らず、別の置き場所を確保しておりました。

今回、従来のオプション機能を受継ぎ、更に本体のコンパクト化を
実現した新コントローラーを開発を致しました。
新コントローラーにはWifiを搭載し、音設定はケーブルレスで
行うことが可能になりました。設置場所も、天井の中やOAフロ
ア下などにも設置が可能になりました。

組み合わせ

ワークソート + コントローラー Poket + デスク・サウンドマスキング +
クイックスピーカー にて オンラインテーブル を 構築



- ・多店舗展開のユーザー
- ・小規模ユーザー
- ・サウンドソリューション家具内蔵ユーザー 等



コントローラー(スタンダード)



コントローラー mini



コントローラー Poket

